

期 間： 令和5年12月18日（月） 午後4時40分より

場 所： 真鶴町民センター 第2会議室

出席者： 瀬瀬 教育長、瀧本 委員（教育長職務代理者）、  
松野 委員、草柳 委員、岡田 委員、  
高橋 教育課長、塩田 学校教育専任課長兼指導主事、奥村 学校教育指導員  
青木 教育総務係長、大竹 課長補佐兼社会教育係長、  
書記：小澤 主任主事

欠席者： なし

傍聴者： なし

#### 議事

##### 1 教育長のあいさつ

##### 2 議題

###### 協議事項

- (1) 教職員人事異動方針について
- (2) 学力調査検証委員会のまとめについて

##### 3 報告事項

- 学校教育関係について
- 社会教育・生涯学習関係について

瀬瀬教育長： はい。それでは定刻となりました。ただいまの出席者数は5名です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に定める定足数に達しておりますので、ただいまより令和5年度真鶴町教育委員会12月定例会を開会いたします。  
改めまして、皆さんこんにちは。

全委員： こんにちは。

瀬瀬教育長： 年末のお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。2点報告です。先週、学校建設準備委員会の今年度3回目を開きました。学校建設準備委員会としての決定で新しい学校、一貫教育校については、小中で幼稚園、保育園はその校舎の中には含めないことで確認を取りました。「入れた方がいいんじゃないか。」という意見も当然ありましたが、スペース的な問題、あるいは14、15歳年齢が違う中で同じ空間で生活することの危険性、そういったものを考慮しての決定になっております。あと、先日、職員も含めた保護者アンケートを11月に行いまして、その集計結果を机上に置かせていただきました。20日付けで保護者や職員に返したいと考えております。分析等についてはまだ行っていませんが、集計結果、自由記述もほぼ原文のまま載せておりますので、関心のある方はしっかり読んでくださるかなと期待しております。

もう1点は、先ほど行いました総合教育会議です。私も今年度初めてということで1回目ですが、今回、町長の方から議題に挙げられました『社会教育施設の今後のあり方』と『幼稚園・保育園の今後のあり方』については、委員会レベルだけでなく、町全体の事として、すごく重要な案件・課題だと感じております。いろいろなところで我々も意識しながら、議論を深めていく必要がある話題なのだろうと捉えております。またご協力をお願いしたいと思います。それでは、本日の協議事項は2点ございます。よろしく願いいたします。

それでは案件に入らせていただきます。協議事項（1）教職員人事異動方針について、事務局から説明をお願いいたします。

高橋課長： はい。それでは協議事項（1）教職員人事異動方針について、資料1をご覧ください。こちらは神奈川県から示されております『神奈川県公立学校教職員人事異動方針』となっております。「神奈川県教育委員会は、学校の適正な運営を確保することにより、教育本来の目的を達成するため人事異動にあたっては、次の事項を基本として、関係機関の積極的な協力のもとに、教職員の適正な配置に努めるものとする。1 適材を適所に配置すること。2 教職員の編成を刷新強化すること。3 全県的視野に立って、広く人事交流を行うこと。」となっております。1枚おめくりいただきますと、裏面は『県費負担教職員等人事異動要綱』となっております。こちらの要綱で人事異動の時期や、第6条の人事異動の考え方に、1校に勤続する年数等の原則が記載されております。こちらを基にいたしまして、県西教育事務所とともに、人事に関して職務を行っていくものとなっております。

ます。説明は以上です。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。では、ただいまの説明についてご意見ご質問があるでしょうか。よろしくお祈いします。

松野委員： はい。

瀬瀬教育長： はい。お祈いします。

松野委員： 現況で、小学校は人が足りないのですが。中学校の教科で、言葉が適切かどうか分からないですが、正規職員といひますか、足りない教科が現在ありますよね。生徒数やクラス数によって職員配置が決まっているので、なかなか難しいと思ひますが、全教科に正規職員が入れるような何か上手く手立てを講じていただけるといひかなという要望です。

瀬瀬教育長： はい。現状はどうですか。事務局の方で。

高橋課長： 現状は技術科が、箱根町さんと兼務してお祈いしています。数年前から行政区を超えて兼任していただいているところはございます。多分、担任する先生は大変と思ひますが、そちらの方は級外みたいな形がどのくらいお認めいただけるかどうかだと思ひます。

瀬瀬教育長： どうぞ。

松野委員： なかなか大変だと思ひますが、ぜひ先生にとっても負担にならない形で、また子どもたちに不利益にならない形で配置していただければと思ひます。良い職員をぜひ取ってください。

瀬瀬教育長： 頑張ってみます。なかなか全教科を正規職員だけで並べるのは、これからは厳しいのかなと感じております。今年度は、技術科と音楽も湯河原中学校と兼務させてもらっています。技術科の先生から「箱根と真鶴で気温差が激しいので、体調管理が大変だ。」と声が上がっていると、事務職から話を聞きました。やっている先生も大変だと思ひます。塩田指導主事、いかがですか。去年まで中学校にいらっしやって。

塩田指導主事： そうですね。昨年よりも今年度は数が少ないので、先生方の声を聞くと「やっぱり大変だ。」という声を聞くことがあります。どう考えていくかだと思ひます。

瀬瀬教育長： はい。他に何かご意見ご質問あるでしょうか。それでは特に無いようでした

ら、協議事項（１）教職員人事異動方針について、挙手により採決をしたいと思  
います。原案のとおり賛成の方は挙手をお願いいたします。

全委員： （全員挙手）

瀬瀬教育長： ありがとうございます。全員賛成と認めます。本案は原案のとおり決定いたし  
ました。

それでは次の案件に入らせていただきます。協議事項（２）学力調査検証委員  
会のまとめについて、事務局から説明をお願いいたします。

塩田指導主事： はい。学力調査検証委員会のまとめ及び報告資料のご説明をいたします。今年  
度につきましては、9月21日木曜日と10月17日水曜日に、真鶴町学力調査検証  
委員会を開催いたしました。小学校からは国語と算数、中学校からは国語と数  
学、英語を担当されている計5名の先生方にご出席いただきまして、今年度4月  
18日に実施された全国学力学習状況調査の結果を基にした分析と検証、また、改  
善に向けた具体的な取り組みについて協議を行い、教職員、保護者のそれぞれを  
対象とした資料を作成いたしました。お手元にあります資料2の印のあるものが  
保護者用、表に大きなイラストのあるものが教職員用になります。

（非公開）

私からの説明は以上になります。奥村先生、補足等ありましたらお願いいたし  
ます。

奥村学校教育： 特に補足はないですが、1、2点。ご存知のように、小学校は丁寧なご指導を  
指導員 されています。数年前から長い文章の設問は、ゆっくり読んで理解することを  
常々授業で行っています。調査は時間制限があるからと、数年前から時間を加味  
しながら取り組んでいただいたのです。それが成果として出つつありましたが、  
コロナの関係でまた戻ってしまったという危機感があるようです。ですから、決  
められた時間の中で、少し長めの文章を読み込んで、理解して設問に取り組むこ  
とが、今後さらに必要になると受け止めております。中学校は英語の調査がござ  
いまして、今のお子さんたちが6年生の時から教科化が始まりました。なので、  
今回初めて“評定”を英語の中で感じたと思います。中学校の英語教師が小学校  
からの生徒を受け入れる時に、「そういった英語嫌いを作らないで欲しい。」と。  
中学校に入って英語嫌いが生まれてしまうのです。さらに、6年生までの間にそ  
ういう要件が整ってしまうと、その深さが非常に大きなものになります。この点  
では非常に懸念していたのですが、今回の調査の中で「英語の必要性が感じられ  
ない」など、非常にそういう痛い思いをあらわにしているということは、やはり  
英語嫌いが幾分他の年よりも大きいかなと感じました。以上でございます。

額縁教育長： はい。ありがとうございました。それでは、ただいまの事務局からの説明に対してご意見ご質問のある方はお願いします。

瀧本委員： はい。

額縁教育長： はい。お願いします。

瀧本委員： 保護者向け資料の2枚目、今年度の特徴的な課題の中学校の意識調査の話の時に、「計画的に家庭学習に取り組んでいる生徒が大きく減少した。」と、先ほど言われていたのですが、それは学校ではどういうふうに分析されているのですか。

塩田指導主事： やはりこのコロナ禍中の、特に夏休みの長期休暇の宿題が終わらないという理由で、2学期に学校に行く行動が遠のく生徒が増えてきたことがあって、家庭学習を学校側と先生方が意識して出すことを、あまりしていなかったということがありました。一方で、子どもたちの家庭学習の計画的な学習のために「マナログ」というノートを活用して継続的に行っていますが、やはりそこで子どもたちの主体的な学びにマナログの活用を繋ぎきれていなかったことが、反省として挙がっておりました。ですので、今後もマナログを活用しながら、子どもたちの学び方や家庭学習の仕方等について、しっかり指導していくことが反省として挙げられています。以上です。

額縁教育長： はい。いかがですか。

瀧本委員： 私見ですけど、やはり子どもにとっての習慣化は「面白い」「学びたい」、そちらが優先されると思います。「家庭学習はどういうものをするんだよ。」と言った時に、コロナの時は、実際にドーンとプリントを渡して量が増えて、それで嫌になってしまったということがあったのではないですか。やはり「そこは違うんだよ。」と。家庭学習は自分でやりたくなるもの、「それをやっていいんだよ。」という指導をされていかないと、なかなかできないかなと。それこそ今言った主体的に学習をする、進めていくようになるだろうから。マナログはよく分からなくて申し訳ないのですが、それがどのくらい、そういう内容が入っているのかも、もう1回検討してもらった方がいいのかなと思います。

塩田指導主事： はい。ありがとうございます。

額縁教育長： はい。ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

草柳委員： はい。

瀬瀬教育長： はい。お願いします。

草柳委員： 小学校は宿題を端末で出したりして持ち帰りも可能ですが、中学校では持ち帰りをさせていないのは、何か特別な理由があるのでしょうか。

塩田指導主事： はい。生徒指導の理由が大きな部分になります。チャット等の機能での人間関係やトラブルなどがあるという点から、「端末の使い方の部分で大きな課題が見られた」ことが大きな要因となっております。

瀬瀬教育長： よろしいですか。

草柳委員： はい。

瀬瀬教育長： どうですか。持ち帰りをするようにという動きは、今あるのですか。

塩田指導主事： やはり小学生の段階で、当たり前のように慣れている子どもたちが中学校から認めてもらえないのは「よろしくないだろう」ということで、中学校では今すぐ前向きに検討して、「お友達のトラブルもあるかもしれないけど、そこから学んでいく。また、それ以上にそれを活用した主体的に学びに繋げる家庭学習のあり方を検討していきたい。」とお話がありました。

瀬瀬教育長： はい。他にいかがでしょうか。感想でも結構です。

松野委員： 脱字が。1枚目の意識調査の「先生によいところを認めら」の後ろに「れ」。同じことが5枚目かな。5枚目の意識調査の認められの「れ」が抜けています。

瀬瀬教育長： 失礼いたしました。ありがとうございます。

塩田指導主事： ありがとうございます。保護者用につきましては、冬休み前の今週中に配布を出しまして、この冬休み中にご家庭で話題に上げていただくことを目的に配布したいと思っておりますので、訂正して配布したいと思います。

瀬瀬教育長： 先生方も含めて、保護者の方に何か働きかけなどは。これを配っただけだとなかなか活用しなかったり、鞆の中に入りっぱなしもあるかもしれないですが、その辺はどうです。せっかくここまで分析をして、その結果なので。

塩田指導主事： 私自身が中学校で働いている際に、それを子どもたちに特に必要な情報をかいつまんで伝えることを、やっている先生とやっていない先生がいたと思います。

なので、特にこの部分は良かった、また、課題として強調して伝えていきたい部分を、明確に伝えていただくようお願いしながら、配布をお願いしたいと考えております。

瀬瀬教育長： 扱ってもらえるとありがたいですね。

塩田指導主事： はい。

松野委員： この調査をやったのは4月で、結果が来るのは9月の後ろですね。時差があるのでなかなかタイムリーではないので。あまり言うてはいけないけど、あまり活用されてないのではないかと思います。

瀬瀬教育長： 実際には、多分どこも同じような課題、認識だと思います。

松野委員： それよりも、日頃の授業の中で三者面談などの面談をやっていると思うので、そういう中でうまく還元、返していったらいいと思います。

瀬瀬教育長： その辺を参考にしながら、また学校の方からいろいろ、ぜひ来てもらえればと思いますので、お願いします。

塩田指導主事： はい。ありがとうございます。

瀬瀬教育長： あと委員の皆さんからいかがでしょうか。よろしいですか。では特に無いようですので協議事項（2）学力調査検証委員会のまとめについて、挙手により採決をいたします。原案のとおりとすることに賛成の方は挙手をお願いいたします。

全委員： （全員挙手）

瀬瀬教育長： ありがとうございます。全員賛成と認めます。原案のとおり決定いたしました。用意させていた協議事項は2点ですが、それ以外に事務局から何かございますか。いいでしょうか。

無ければ報告事項に入りたいと思います。事務局より学校教育、社会教育の順でお願いいたします。

青木係長： はい。よろしく申し上げます。12月の学校教育になります。4日に、コミュニティスクールの試行として、まなづる小学校評議員会を開催しました。5日と7日には、それぞれ校長会、教頭会を開催し、6日に幼小中一貫教育合同研究会を開催しました。12日には、先ほどからお話が上がっていますが、「第3回学校建設準備委員会」を開催し、今年度はあと3月に1回残すのみとなります。15日、小

学校就学に向けた交流会を開催。18日、総合教育会議、教育委員会定例会。午後に「生徒の願いを聞く会」で、真鶴中学校の生徒会の生徒6名にお話を伺ってきて、子どもたちも最初は緊張してなかなか言葉が出なかったのもありますが、素直な意見をいろいろ聞くことができましたので、今後反映させていければと思います。明日、まなづるっ子自立支援コンサルテーション。20日は今度、小学校6年生の総合の時間、授業1コマをお借りして「児童の願いを聞く会」が実施されます。22日に幼小中2学期終業式が開催されました。

裏面の1月にいっていただいて、冬休みが8日までになります。9日が3学期始業式。10日に校長会を開催予定です。17日、小学校就学に向けた交流会。17日と31日、1月は2回開催されます。18日、学校・園防災担当者会議。22日に教育委員会定例会。23日に教頭会と、幼稚園の学校関係者評価委員会。29日は中学校の学校関係者評価委員会が開催されます。以上です。

瀬瀬教育長： はい。ありがとうございます。質問は社会教育が終わってからのにしたいと思いますので、引き続きお願いします。

大竹係長： はい。それでは生涯学習・社会教育関係の12月です。表面をお願いいたします。7日には成人学級社会見学を4年ぶりに行いました。38名の参加者は、横浜市のゴミ処理施設でありますリサイクルポート山ノ内などの施設を見学いたしました。13日には今年度3回目の社会教育委員会議を開催し、これまで実施済みの事業の振り返りや、これから実施予定の事業について協議を行いました。同日には、放課後子どもいきいきクラブが2学期の最終日を迎えております。14日には青少年指導員の皆様にご協力いただき、歳の市夜間特別パトロールを実施いたしました。15日には第2回二十歳の集い実行委員会を開催し、アトラクション企画の作業進捗状況の確認などを行っております。16日には冬の子どもフェスティバルとして、草柳委員に講師を務めていただきまして、アドベントカレンダー作り教室を開催しました。16名の参加者はコルクボードに貝殻などを貼り付け、クリスマスツリーやリースなどを描きました。後半の部におきましては、真鶴かるたを利用した「かるた大会」も実施しております。本日と明日には、書道サークルの方々にご協力いただき、小学校で書き初め指導を行ってまいります。23日には町管理栄養士、いろどり会の方にご協力いただき、冬の子どもフェスティバルとして、クリスマスケーキ作り教室を開催します。同日には、まなづる土曜教室が2学期最後の活動日を迎えます。24日には青少年指導員と中学校生徒が中心となり、模擬店の運営を通して地域の方々と交流する「ふれあいの集い」を、なぶら市に参加する形で開催いたします。25日と27日には青少年指導員と小中学校PTAの方々のご協力により、青少年愛護パトロールを実施いたします。26日には、放課後子どもいきいきクラブ運営委員会を開催し、2学期の振り返りと3学期のメニューなどについて協議する予定です。博物館事業としましては、10日にお林探検を内容とした自然こどもクラブを開催し、10名の参加がございました。12日には海に

関するテーマで講演を行う海トークを開催しました。今回は水産教育研究機構の寒川清佳<sup>さむかわきよか</sup>さんを講師に迎え、『真鶴沖の環境 DNA』というテーマでお話いただきました。美術館においては、コレクション展Ⅲが19日で幕を閉じます。

裏面をお願いします。1月です。1月については、8日に『二十歳の集い〜20祭〜』が予定されております。11日、12日には書道サークルの方々に協力をしていただき、小学校で書き初めの指導を行い、校内で行われる『書き初め展』の作品を仕上げます。13日には新春囲碁大会を開催します。20日には冬の子どもフェスティバルとして、ピンホールカメラ作りを開催する予定です。21日には子育て学級として、リトミックの体験教室を予定しております。あと、欄外の記載になりますが、24日に真鶴半島健康マラソン運営委員会を開催する予定でございます。28日には博物館と図書館の連携事業として、お林の野鳥観察会を開催します。博物館事業といたしましては、16日に横浜国立大学臨海環境センターの高山<sup>たかやま</sup>佳樹<sup>よしき</sup>さんを講師に迎え、『小さなプランクトンの大きな可能性』と題して、海トークを開催します。美術館において表題は未定ですが、1月24日から2024年コレクション展Ⅰが開幕する予定でございます。以上でございます。

瀬瀬教育長：

はい。ありがとうございました。ただいまの説明、報告について何かご質問等あればお願いいたします。よろしいですか。冬もいろいろ事業がありますので、またご協力、ご参加をお願いしたいと思います。

特に無ければこれで全ての案件が終えましたので、これをもちまして12月教育委員会定例会を終わりといたします。どうもありがとうございました。

全委員：

ありがとうございました。